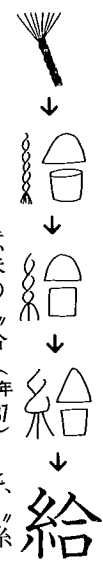


給

四年 画数 12
筆順 糸 給 給
オン キュウ
クシ

成り立ち



「合わせる」という意味の「合(2年13)」と、「糸」とを組み合わせて作った字です。

「糸を合わせる」という意味の字で、まゆから引き出した細い糸を、なん本も「合わせ」て、ふつうの糸にすることです。これを「糸とり」と言います。まゆをかまでて、まゆから糸ぐちをとり出し、それを次から次と糸に「くわえ」ていき、それで糸ができ上がります。

だから、「糸とり」は、「糸を合わせる」ことですが「糸をくわえる」ことでもあります。それで、「くわえる」という意味に使われます。【例補給】

また、「あたえる」という意味にも使います。【例配給 給与、給付、給料(給金)。また、「給料」という意味そのものにも使います。【例月給、週給。】

使い方

▽ガソリンを補給するために、ガソリンスタンドによりました。

▽おかあさんは、給料日には、ごちそうを作ります。おとうさんも、給料日には、とても機嫌の良い顔をしています。わたしも、おこづかいをもらえるので、給料日が好きです。

熟語例

▽補給(不足した分を補って、加えること。)

▽配給(割り当てて配り与えること。「戦後、しばらくの間は、米や砂糖など、ほとんどのものが、配給制で、人々は、満足に食べ物も食べられなかった」などというふうには、つかいませぬ。)

▽給与(お金や品物を与えること。また、与えられたそのもの。とくに、官庁や会社などが、働く人に与える給料などをいいます。)

▽給料(働く人に対して支払われるお金)

▽月給(月ごとに支払われる給料。日本では、ほとんど会社が、月給です。)

▽週給(週ごとに支払われる給料)

使い方

▽「山本さんの意見に賛成の人は、手を挙げてください」と議長がいました。

▽近くの家に、空巣ねらいが入りました。おまわりさんがやって来て、調べていましたが、そのうち、挙動不審の男をつかまえました。やっぱり、その男が犯人でした。

熟語例

▽挙手(手を挙げること。「挙手の礼」といえば、右手を挙げてする敬礼のことです。)

▽挙用(挙げる用いること。高い地位にあげて、仕事をさせること。「〇〇氏を文部大臣に挙用する」などというふうには、つかいませぬ。)

▽推挙(ある地位に適當だとして、人を推せんすること。)

▽挙動(ふるまい。行動。「挙動のあやしい男を見つけたので、尋問をした」などというふうには、つかいませぬ。)

▽壮挙(勇ましい行動。「南極探検の壮挙をなした」といふなどというふうには、つかいませぬ。)

挙

四年 画数 10
筆順 一 二 三 四 五 六 七 八 九 十
オン キョ
クシ あ||がる||げる

成り立ち



「手」とを組み合わせて作った字です。

「みんながそろって手を「あげる」ことを表した字です。「みんながそろってする」意味【例挙国一致||国民がみんなそろって一つの事を目ざして行うこと】や「あげる」という意味【例挙手】に使われます。

また、「高い地位にあげる」意味に使います。【例挙用、推挙。】

「手をあげる」ことは人の行動の一つですから「行動」という意味にも使われます。【例挙動、壮挙。】